愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会

愛知登文会ニュース 第39号

令和７年１月30日号

■　事業実施報告「あいちのたてもの博覧会 2024（あいたて博 2024）」

11 回目の開催となったあいたて博 2024 は、全体で 25 日間、96 企画、110 建物で開催。新たに 30 の建物に参加いただくことができ、昨年と比べて建物数は 1.26 倍となりました。プレミアム企画は抽選方式としたところ、定員の4.5 倍を超える応募のある企画もあり、全企画の参加者は約 2,200 名、うちコラボ企画以外の建物解説には 1,441 名の参加があり、昨年の 1.34 倍となりました。

公開対象拡大後２年目となり、事務局やボランティアスタッフの数も増え、熱心な参加者の皆さまのおかげで充実した取組となったと感じています。ご参加いただいた皆さまありがとうございました。

名古屋市市政資料館（名古屋市）

◆オープニングトーク・クロージングトーク

オープニングトークではあいたて博の見どころなどを紹介、クロージングトークでは最終日にライブ中継であいたて博を振り返りました。どちらも YouTube で視聴可能です。

オープニングトーク

クロージングトーク

あいたて博 WEB サイト

【プレミアム企画】

◆10月12日（土）～11月24日（日）　―14日間15企画

じっくり建築を堪能できる専門家によるツアーをはじめ、素敵な建物の中で食事やコンサートを楽しむことができる企画です。足助では初公開の建物を含むまちめぐりを実施。長年にわたりあいたて博でのみお住まいを公開いただいていた柴田家住宅では、今後しばらくは公開できないということからまち歩きと食事を組み合わせたプレミアム企画として実施。所有者の方と語り合う機会を持つこともできました。

専門家による解説（名古屋市市政資料館）

足助のたてものめぐり（足助小学校講堂）

専門家による解説（蒲郡クラシックホテル）

料亭でミニ会席を味わう（望洲楼）

専門家による解説（INAX ライブミュージアム）

所有者による解説（柴田家住宅）

【一斉公開・アフターイベント】

◆11月2日（土）～名古屋市～

初参加５件を含む１４件の建物を公開。あいにくの雨天となりましたが、街歩きツアーも予約者全員が参加。中産連ビルの参加者からは「好きなレトロ建築に実際に触れて、専門家のお話が聞けて、同じようなものが好きな人が老若男女いることがわかって嬉しかったです」との感想が寄せられました。

恒川先生による解説（豊田講堂）

中村遊郭街歩きツアー（初開催）

専門家による解説（中産連ビル）

◆11月4日（月・祝）～東尾張地方～

初参加３件を含む１０件の建物を公開。瀬戸市では８つの建物を時間をずらして公開したことで、複数の建物を巡っていただいた方もおられました。永泉教会では「建築士さんに建物愛に溢れる解説をしていただいて、ガラッと印象は変わりました。資料も見やすかったです」との感想も寄せられました。

自由見学の様子（日本鉱泉・初参加）

解説の様子（どうだん亭・初参加）

解説の様子（市川家住宅・初参加）

◆11月9日（土）～北尾張地方～

７件の建物を公開。報光寺では「解説いただいた小山さんのお話が面白くもっと聞いていたい思いでした。各宗派の建物からの見分け方などためになるお話もたくさん聞けた」との感想が寄せられました。川田家住宅では「そこに住んでいた方から思い出とともにお話が聞けるのは貴重」とのご意見もいただきました。

専門家による解説（小弓の庄）

専門家による解説（報光寺）

専門家による解説（川田家住宅）

◆11月10日（日）～知多地方～

初参加２件を含む１２件の建物を公開。初参加となった旧森田定吉邸は野間郵便局旧局舎と同じ所有者が再生した古民家。再生を手掛けられた建築士の方に旧局舎とあわせて案内いただきました。同じく初参加となった間瀬家住宅では、そこで生まれ育った方から興味深いお話を伺うことができました。

専門家による解説（旧森田定吉邸・初参加）

回転する雨戸（間瀬家住宅・初参加）

堀口捨巳設計（とこなめ陶の森陶芸研究所）

◆11月16日（土）～西三河地方～

初参加２件を含む１３件の建物を公開。初参加となった六供配水場では「水道施設が好きで、全国30ヶ所位見学に行きましたが、配水塔に登るのは初めてでした。縦長の窓から差し込む光に照らされたドーム状の天井と、キラキラと輝く水面…。ご褒美の様な光景でした」との感想も寄せられました。

解説の様子（六供配水塔・初参加）

解説の様子（豊田市民文化会館・初参加）

専門家による解説（八丁味噌本社事務所）

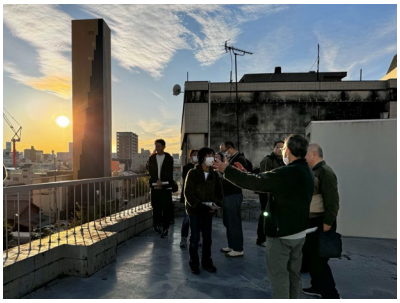
◆11月17日（日）～西尾張地方～

初参加１件を含む５件の建物を公開。初参加となった真清田神社では「神社の解剖図鑑」の著者である米澤先生に解説いただき、「痒いところに手が届く素晴らしい解説でした」との感想も寄せられました。

米澤先生による解説（真清田神社・初参加）

屋上も公開（甘強味淋西洋館）

◆11月23日（土・祝）～東三河地方～


屋上も公開（水上ビル・初参加）

旧多米小学校（豊橋市民俗資料収蔵室）

初参加１件を含む５件の建物を公開。初参加となった水上ビルでは「普段は入れない場所に入ることができてよかった。所有者や利用者の方のお話を聞くことができる良い機会となった」「個人では体験できない貴重な経験もできました」との感想も寄せられました。

◆11月24日（日）～名古屋市～

初参加１件を含む８件の建物を公開。初参加となったアクテノンでは「歴史や当時の面影など近くで見られて楽しかったです」「配水塔から図書館、そして、演劇練習場へと変わっていったことがよくわかりました」との感想も寄せられました。

配水塔だった建物の内部（アクテノン・初参加）

屋上も公開（神言神学院）

◆12月1日（日）　アフターイベント　～豊橋市～

解説の様子（ハリストス正教会聖堂）

杉理先生による解説（安久美神戸神明社・初参加）

豊橋市公会堂が東三河の一斉公開日に借用できず、この日であれば借用できるということで、周辺の建物を含め４つの建物をアフターイベントとして公開。ハリストス正教会聖堂は修復後初めての公開となったことから、予約受付開始早々に定員が埋まるほどの人気となりました。

【コラボ企画】

所有者等との共催や他団体主催であいたて博と関わりが深い１２企画をコラボ企画として実施しました。揚輝荘伴華楼では、今後の活用を検討する試行的取組として、紅葉を眺めながら有名店の特製弁当を食べるという初めての企画が行われました。

南山大学との共催（南山大学）

名古屋市との共催（揚輝荘伴華楼）

編集後記

今号は特集号として、登文会の取組から発展し協力事業として位置づけられるあいたて博を取りあげました。限られた紙面ではその一部しかご紹介できませんが、参加者の感想もピックアップしました。あいたて博を楽しんでいただいている様子を少しでもお伝えすることができればと思います。

まだまだ、十分に対応できなかったことも多く、その反省点も踏まえ、次回の取組について検討が進められています。2025 パンフレットのイラストも募集予定です、詳細はあいたて博ＷＥＢサイトをご覧ください。

愛知登文会ニュース　第 39 号
発行日：令和７年１　月３０日
発行者：愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会
〒460-0003　名古屋市中区錦３丁目６番 15 号先
名古屋テレビ塔株式会社内
TEL　052-971-8546　　FAX　052-961-0561
E-mail　info@aichi-tobunkai.org
WEB サイト　https://www.aichi-tobunkai.org
Facebook　@aichi.tobunkai
X　@aichitobunkai
Instagram　aichitobunkai
LINE
（自動応答）